
2014年3月期 決算説明会

2014年4月28日



2014年3月期 通期決算

連結業績のポイント(1)

- 景気動向

- (世界経済)

- 欧州: 景気の持ち直し

- 米国: 個人消費、住宅改善により景気回復

- 中国: 緩やかな経済成長

- (国内経済)

- 個人消費、住宅、雇用の改善により回復基調

連結業績のポイント(2)

【業績】

売上高 2,525億円(前期比△12%)

営業利益 161億円(同△35%)

- 液晶用基板ガラス: 需要の鈍化と製品価格の下落が続く
- PDP関連(基板、ペースト): 主要顧客撤退による縮小
- ガラスファイバ、カバーガラス、太陽電池用など:

前期を上回る業績を達成

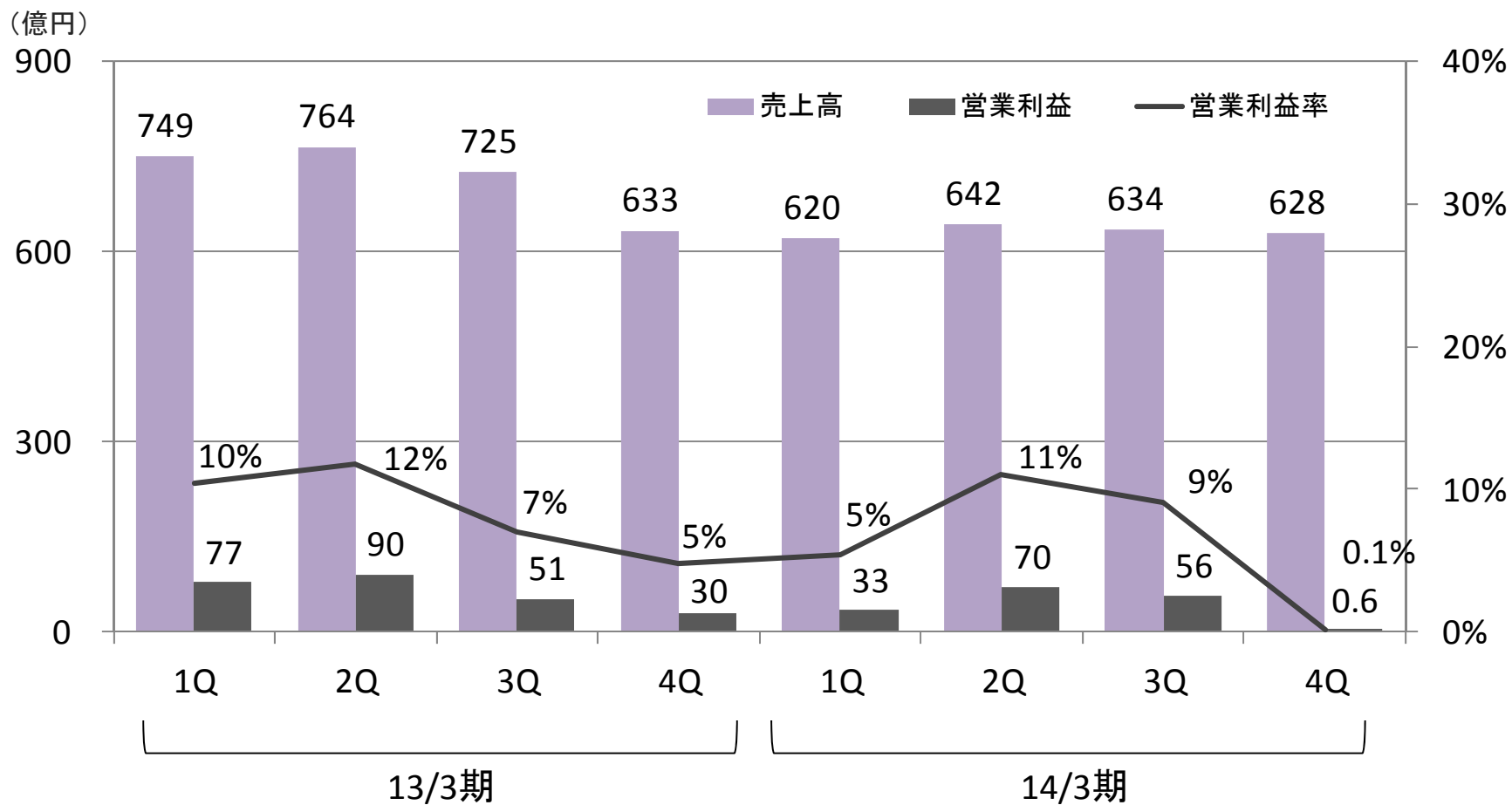
⇒ 事業ポートフォリオの改善に成果

連結業績の概要

(億円)

	13年3月期	14年3月期	増減
売上高	2,873	2,525	△12%
営業利益	249	161	△35%
経常利益	227	143	△37%
特別損益	△56	45	
税前利益	171	189	
当期純利益	106	124	17%
包括利益	279	235	△16%
1株当たり当期純利益	21.32円	24.99円	
純資産	4,952	5,108	
自己資本比率	70.1%	71.2%	
1株当たり配当金	16円 (中間8円)	16円 (中間8円)	－円 (－円)

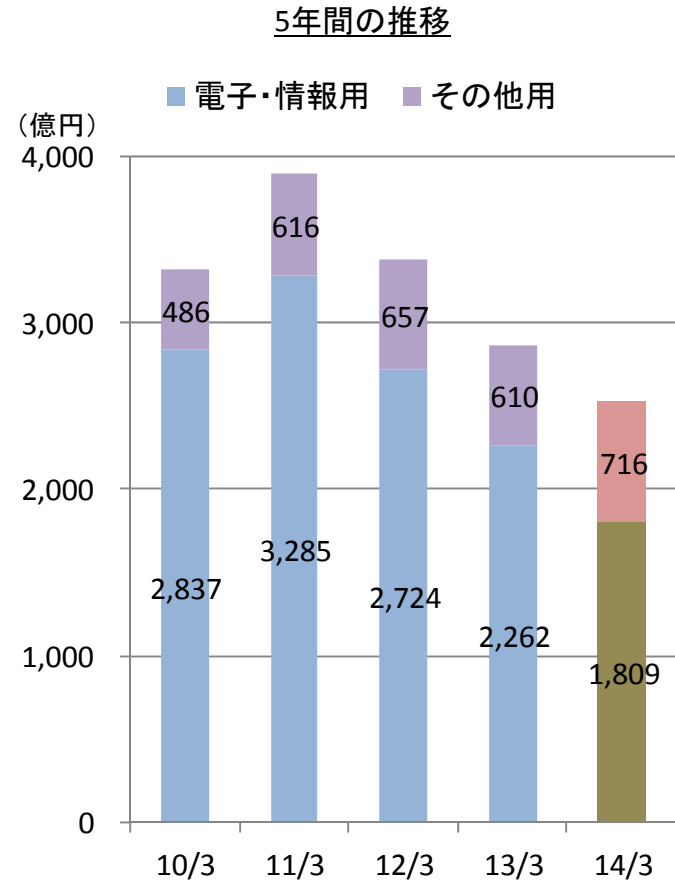
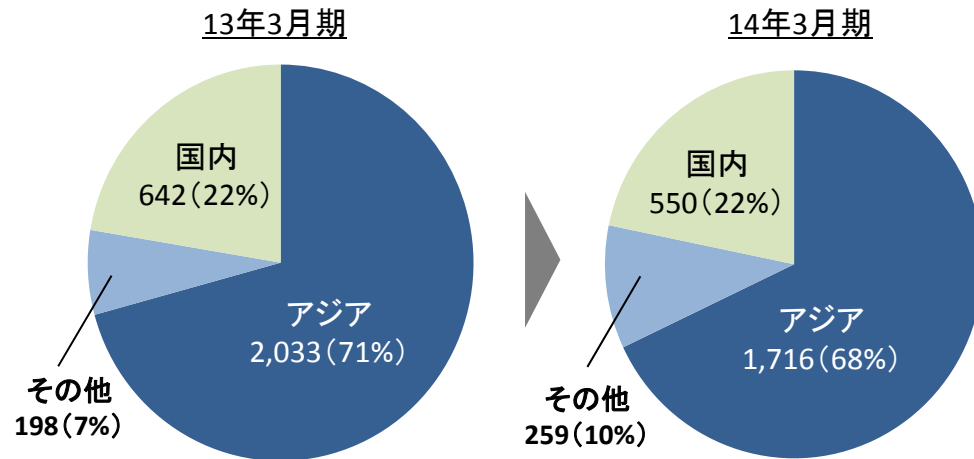
四半期業績の推移



事業分野別・地域別売上高

(億円)

		13年3月期	14年3月期	増減
ガラス事業	電子・情報用	2,262	1,809	△20%
	その他用	610	716	17%
合計		2,873	2,525	△12%



事業分野別の状況

- 液晶用基板:
- 価格下落や2Q後半からの需要減速の影響
 - 4Q 数量 3Q比、+1桁半ば%増加
価格 3Q比、△1桁半ば%下落
 - 13年(暦年)の数量成長・・・△1桁後半%のマイナス

化学強化専用ガラス:

- 3Qより新製品<Dinorex>の本格販売スタート
- 複数のブランド、機種に採用
- 13年度は数十億円規模に成長

光・電子デバイス:

- イメージセンサ用カバーガラス: デジタルカメラ需要の減速影響
- 光関連: 通信インフラ需要の増加により堅調
- 汎用電子部品向け: 堅調

事業分野別の状況

PDP: • 主要顧客撤退により減少

太陽電池用基板:

- 需要増加に伴い販売順調

ガラスファイバ:

- 高機能樹脂用: 自動車市場の回復、低燃費・HV車の拡大などにより好調
- セメント強化用: 年間を通して好調

医療・建築・耐熱:

- 医薬用管: 海外市場を中心に販売拡大
- 放射線遮へい用: 需要増により堅調
- 建築・耐熱: 景気回復により、下期にかけて回復

連結貸借対照表

(億円)

	13/3期	14/3期	増減
流動資産	2,435	2,475	39
現金・預金	1,294	1,341	47
受取手形・売掛金	458	443	△15
たな卸資産	552	573	20
その他	130	117	△13
固定資産	4,538	4,595	57
有形固定資産	3,953	3,937	△16
無形固定資産	20	26	5
投資その他	563	631	67
合計	6,973	7,070	96

■流動資産

現金・預金(増): 固定資産売却
受取手形・売掛金(減)、たな卸資産(増): 販売減

■固定資産

有形固定資産(増): 電気硝子(Korea)設備取得(+)
減価償却費(-)、固定資産売却(-)

	13/3期	14/3期	増減
負債	2,020	1,962	△58
支払手形・買掛金	358	281	△76
借入金・社債	1,026	994	△31
未払法人税等	14	18	4
特別修繕引当金	350	359	9
その他	272	307	35
純資産	4,952	5,108	155
株主資本	4,846	4,891	44
その他の包括利益累計額	42	139	96
少数株主持分	63	77	13
合計	6,973	7,070	96

■負債

支払手形・買掛金(減): 仕入減
借入金・社債(減): 借入金の返済

■純資産

株主資本(増): 利益剰余金
その他の包括利益累計額(増): 株式評価(+)
為替換算調整(+)

連結キャッシュ・フロー計算書

	13/3期	14/3期	増減	(億円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	551	466	△84	
税金等調整前当期純利益	171	189		(営業CF)
減価償却費	461	358		• 収入: 売上債権の減少
減損損失	26	33		• 支出: 仕入債務の減少
売上債権の増減額(△は増加)	111	25		
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12	△16		(投資CF)
仕入債務の増減額(△は減少)	△185	△89		• 支出: 主に電気硝子(Korea)の設備取得
その他	△20	△34		• 収入: 固定資産売却
投資活動によるキャッシュ・フロー	△465	△338	127	
固定資産の取得による支出	△331	△453		
固定資産の売却による収入	4	150		(財務CF)
その他	△138	△35		• 支出: 借入金の返済、配当金の支払
財務活動によるキャッシュ・フロー	76	△111	△188	
長短借入金の増減額(△は減少)	△42	△31		
社債の発行による収入	200	—		
配当金の支払額	△79	△79		
その他	△1	△0		
現金等に係る換算差額	2	4		
現金等の増減額(△は減少)	165	21	△143	
現金等の期末残高	1,217	1,238	21	

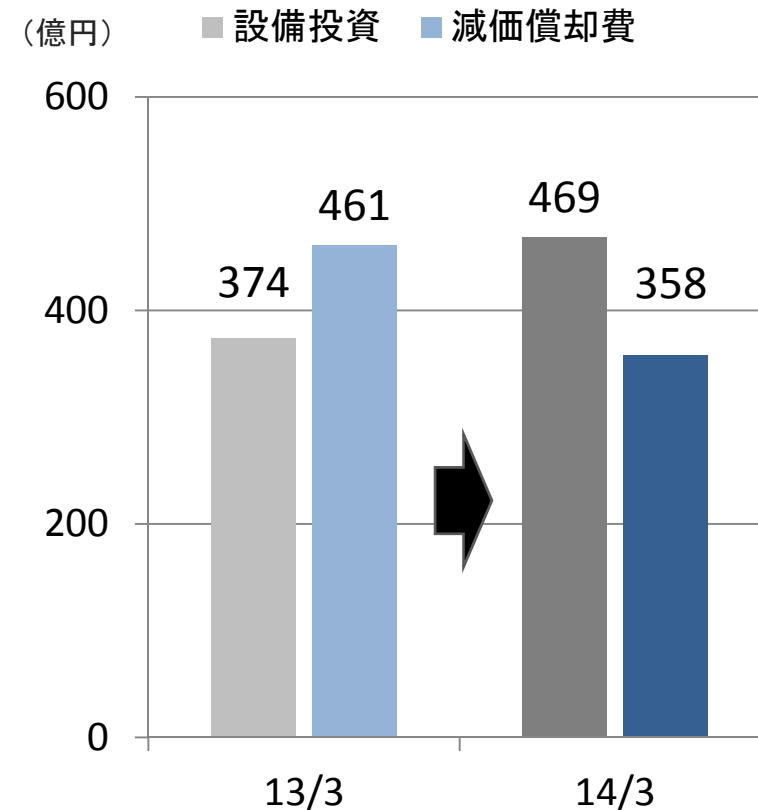
設備投資・減価償却費(連結)

設備投資

- 液晶用基板ガラスの海外展開など
- 469億円(前期比+94億円)

減価償却費

- 前年度を下回る水準
- 358億円(同△102億円)



2014年12月期 業績予想

決算期(事業年度の末日)の変更について

当社は、本年6月27日開催の第95期定時株主総会の決議をもって、2014年度より決算期を12月31日に変更する予定です。

経過期間となる2014年度は、9ヶ月の変則的な決算となる予定です。

2013年度 (2014年3月期)	2013年 1~3月	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月	2014年 1~3月
当社及び国内連結子会社		1Q	2Q	3Q	4Q
海外連結子会社	1Q	2Q	3Q	4Q	

●2014年度 (2014年12月期)	2014年 1~3月	2014年 4~6月	2014年 7~9月	2014年 10~12月
当社及び国内連結子会社		1Q	2Q	3Q
海外連結子会社	1Q※	1Q	2Q	3Q

※海外連結子会社の1~3月は、純利益を1Q期首の貸借対照表における株主資本の利益剰余金に直接加減するため、損益計算書には反映されません。

2015年度 (2015年12月期)	2015年 1~3月	2015年 4~6月	2015年 7~9月	2015年 10~12月
当社及び国内連結子会社	1Q	2Q	3Q	4Q
海外連結子会社	1Q	2Q	3Q	4Q

連結業績予想

(第1四半期)

(億円)

		売上高	営業利益	経常利益	純利益
14年3月期(実績)	1Q	620	33	36	18
	2Q	642	70	61	41
	3Q	634	56	46	44
	4Q	628	0.6	△0.6	19
14年12月期(予想)	1Q	640～690	10～30	10～30	10～30

※14年12月期1Qの予想値は、国内4～6月、海外4～6月を連結した数値。
なお、海外1～3月の損益は、前頁に記載のとおり、上表には含まれておりません。

(通期)

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
14年3月期(実績)	2,525	161	143	124
14年12月期(予想)	2,000～2,100	110～170	80～140	70～110

※14年12月期の予想値は、国内4～12月、海外4～12月を連結した数値。
なお、海外1～3月の損益は、前頁に記載のとおり、上表には含まれておりません。

連結業績予想の前提

<概況見通し>

概況

- 欧州: 景気は持ち直しの動き
- 米国: 景気は緩やかに回復
- 中国: 緩やかな成長が持続
- 日本: 消費増税に係る需要の反動減が見込まれるも、徐々に持ち直す

原燃料

- 電力、ガスの値上げ、為替の影響によりコスト増を見込む

為替

- 想定レート: 1ドル=100円、1ユーロ=135円

連結業績予想の前提

ディスプレイ

- 液晶は、緩やかな市場成長の下、底堅く推移
- 1Q見込み 数量 4Q比、横ばい
価格 4Q比、△1桁前半%の下落
- 14年(暦年)の数量成長:市場と同程度は伸ばす
(+1桁後半%増)

化学強化 専用ガラス

- 採用機種と販路の拡大により増加

電子部品

- 光関連ガラス:通信インフラ需要により堅調
- イメージセンサ用カバーガラス:デジタル一眼カメラ向けが春先から回復

太陽電池用 基板

- 安定した出荷

連結業績予想の前提

ガラスファイバ

- 高機能樹脂用:自動車部品向けを中心に堅調
- セメント強化用:建築、土木分野の需要増加により堅調

医薬用管

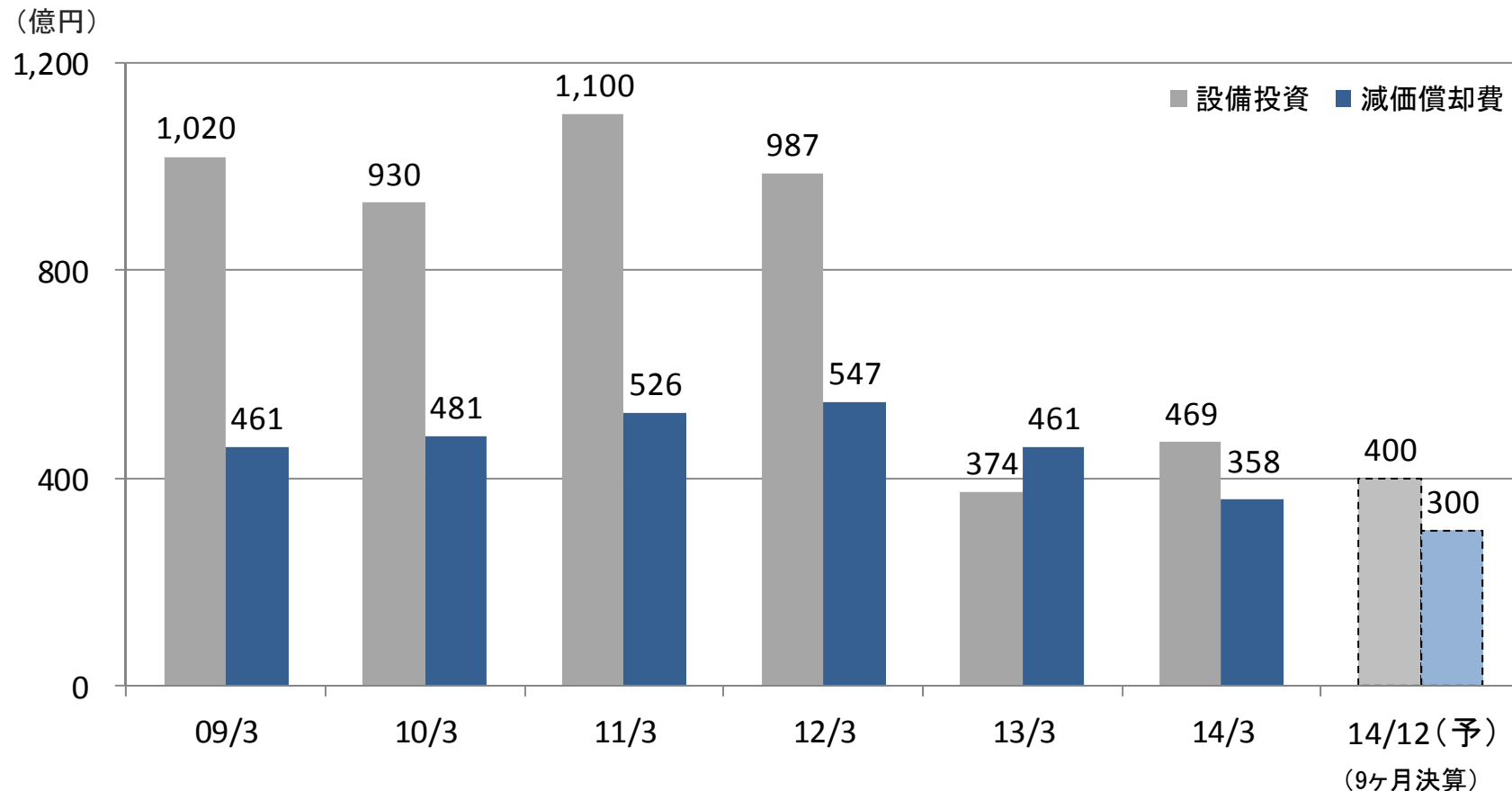
- 中国など新興国を中心に拡販

耐熱・建築用

- 海外市場への積極的な拡販

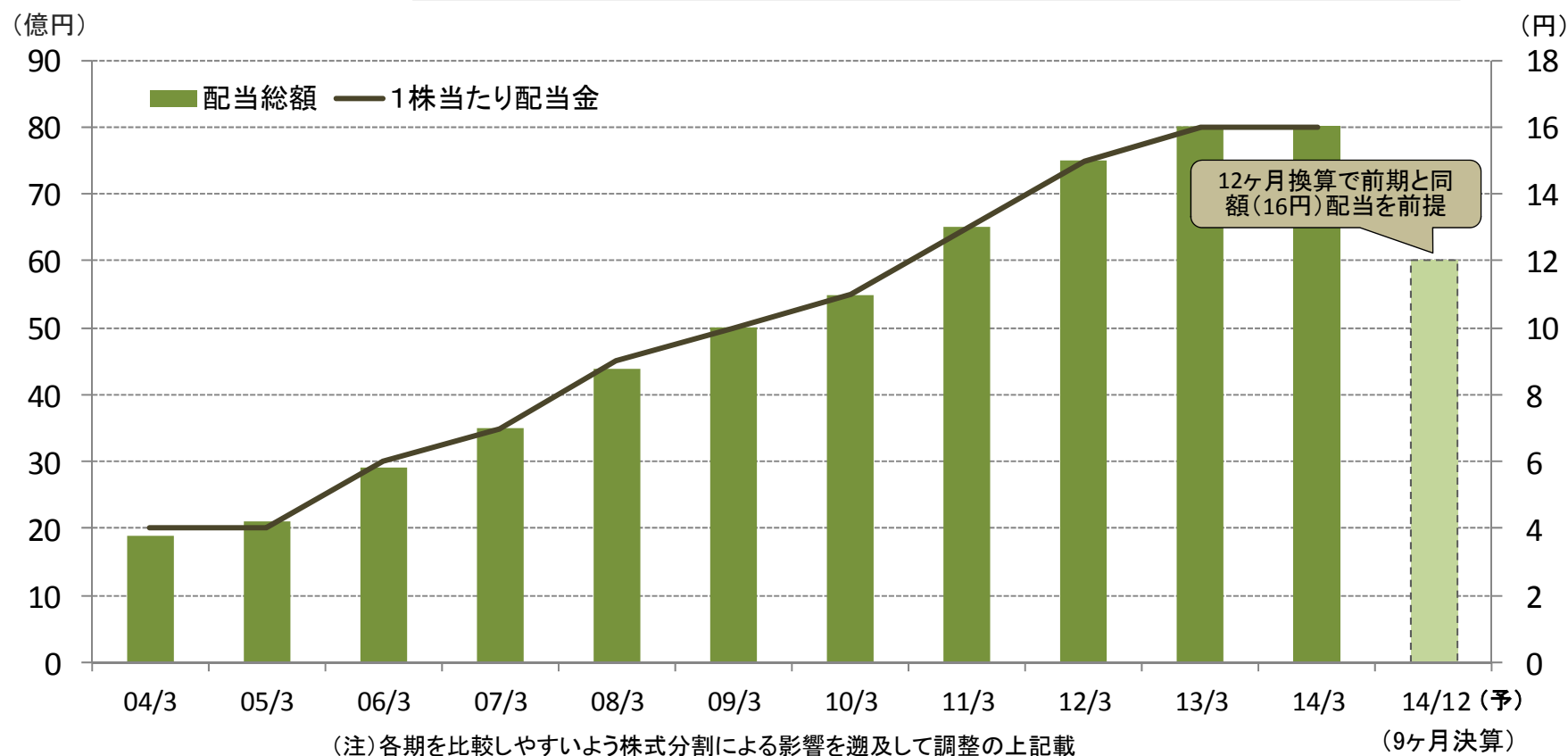
設備投資・減価償却費の見通し

設備投資	<ul style="list-style-type: none"> ● 主に液晶用基板ガラスの海外展開(電気硝子(広州)、電気硝子(Korea)第2期投資)、新規分野への投資、など ● 年間400億円程度を見込む(完工ベース)
減価償却費	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間300億円程度を見込む



配当方針と配当予想

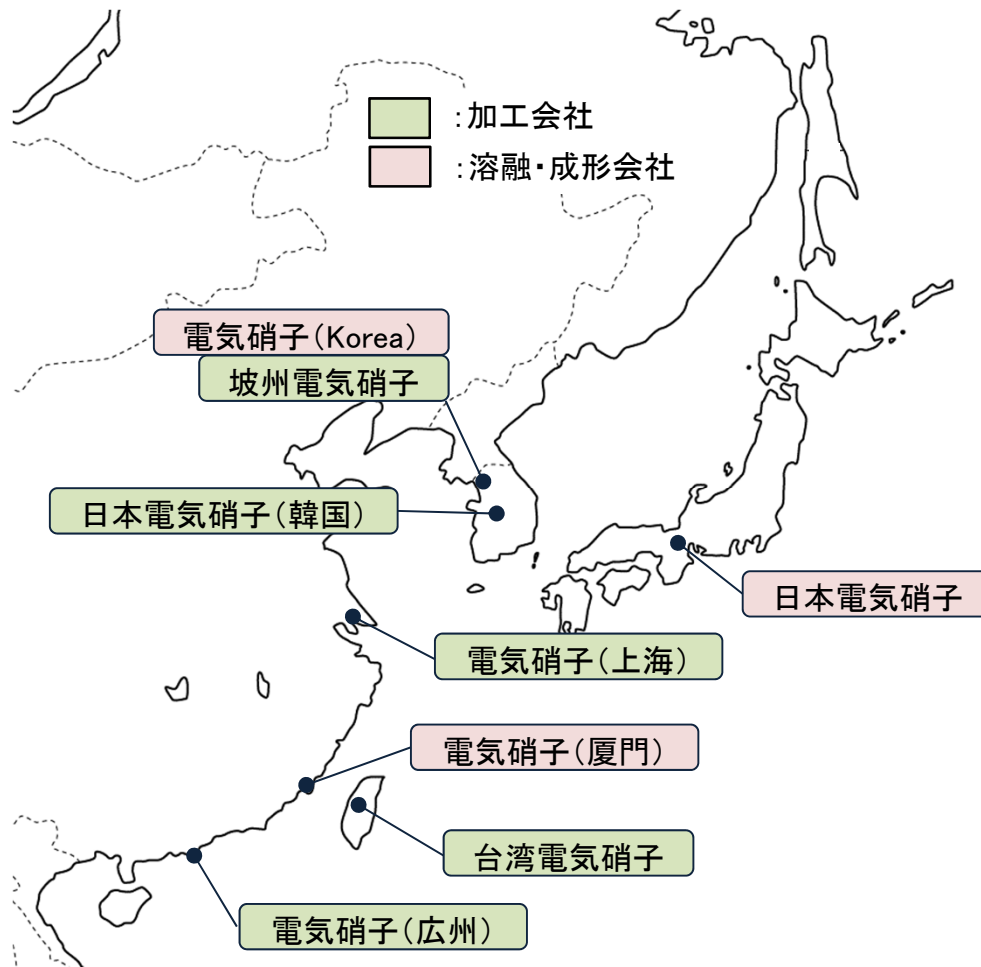
利益配分の 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 長期的に安定した利益還元 ● 内部留保(将来を見据えた研究開発、企業体質強化)
2014年12月期 配当予想	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間(12ヶ月)換算で1株につき前期同額(16円)の前提 ● 中間8円、期末4円 → <u>年間配当12円/株</u>



2014年度以降の重点課題

液晶ディスプレイ用基板ガラス

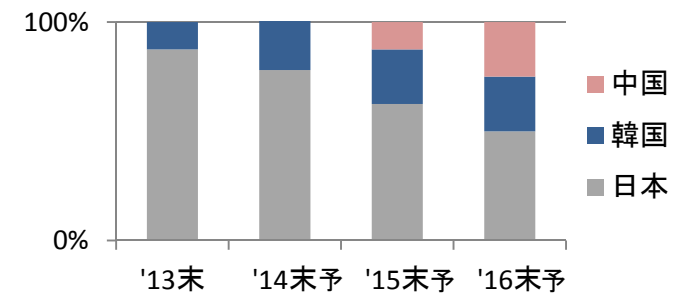
(ディスプレイ用ガラスの事業拠点)



海外生産の強化と収益性の改善

- **韓国市場**
電気硝子(Korea) 第2期: 14年夏稼働
- **中国市場**
電気硝子(広州): 14年3月稼働
電気硝子(厦門): 15年後半、16年後半

地域別の生産能力



- **設備当たりの生産量の拡大**

高精細化への対応

超平滑、低たわみ、低熱収縮の特性を持った新製品の開発

化学強化専用ガラス

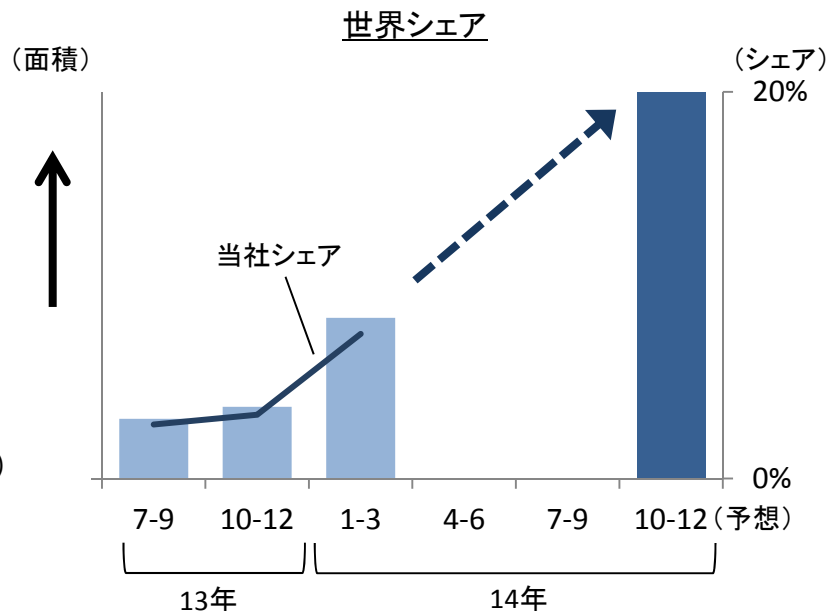
採用機種種の拡大とエンドユーザーの開拓

⇒ 年末を目途に単月シェア20%を達成

【新ブランド】



「Dinosaur(恐竜)」+「Rex(ラテン語で「王」の意味)」

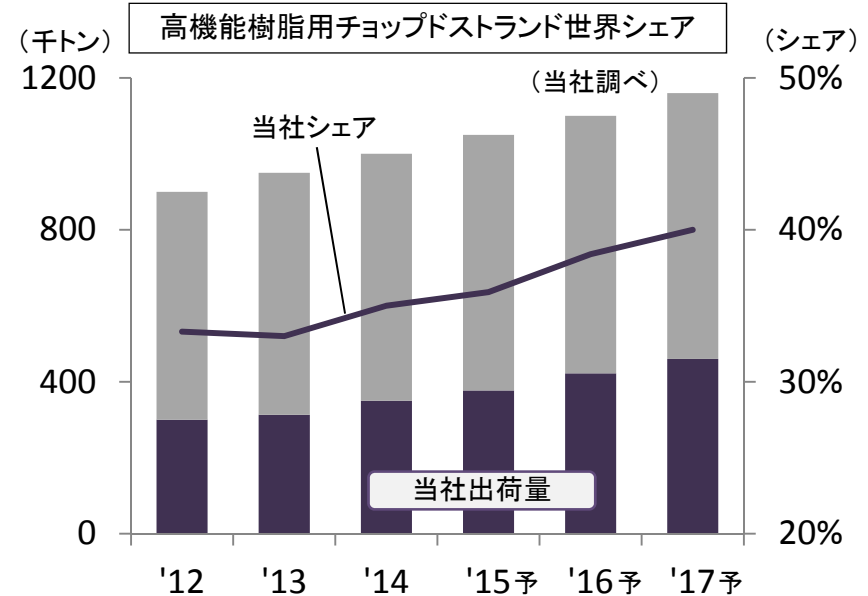
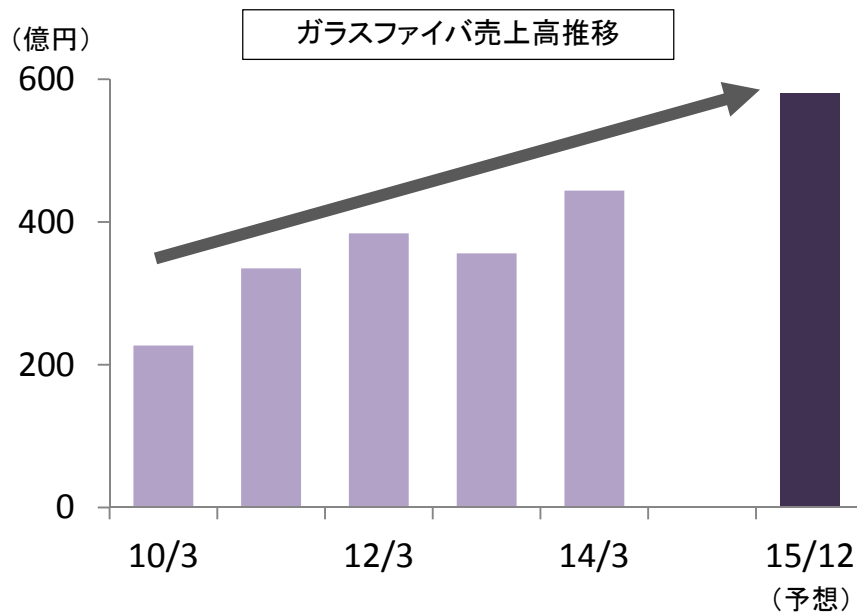
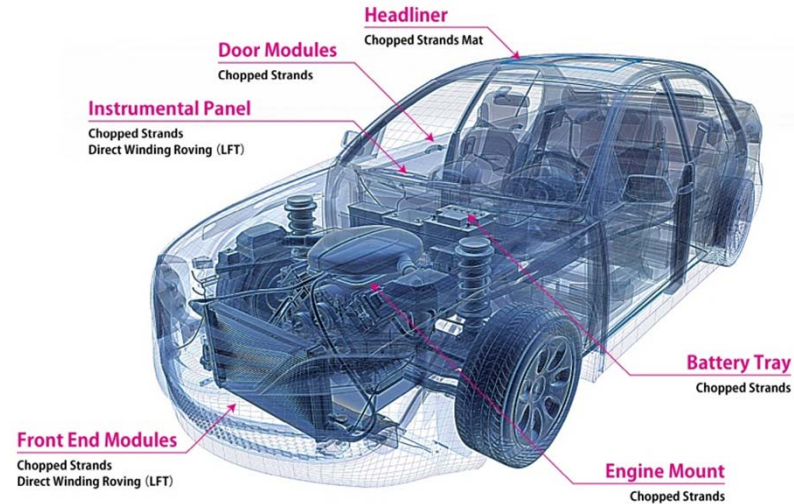


- オーバーフロー製法による高い品質
- 化学強化の時間短縮が可能
- 高い透過率

⇒ 現在、10ブランド26機種に採用
(LG、SAMSUNG、TCL、Coolpad・・・)

ガラスファイバ

- ✓ 自動車向け高機能樹脂用：
軽量化、HV化含む市場拡大に対応
 - ✓ セメント強化用：
成長期待市場（トンネル補修などの交通インフラ関連需要）へ対応
- ⇒ 年間売上高500億円
（14年度12ヶ月換算）
営業利益率10%以上



医療用ガラス

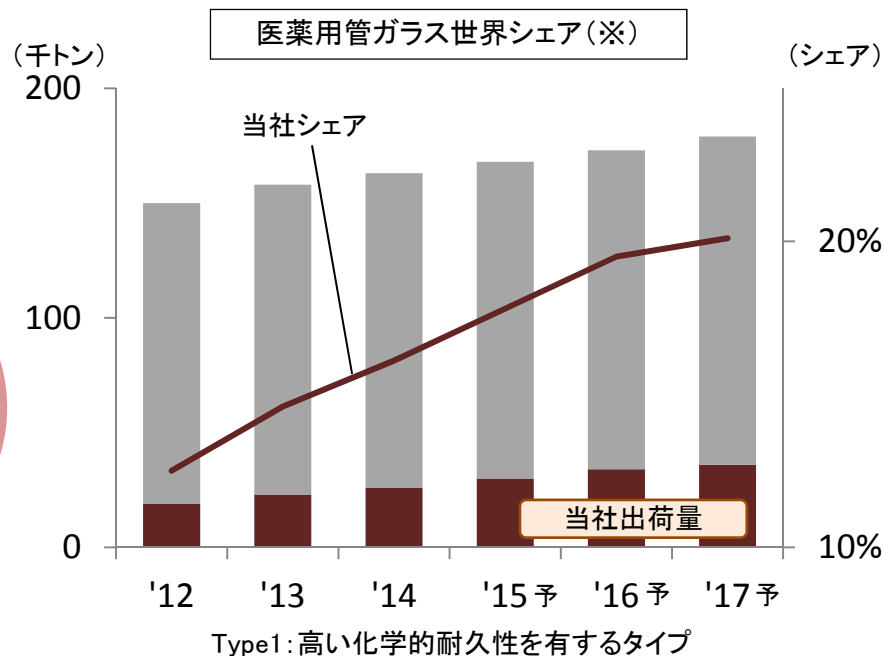
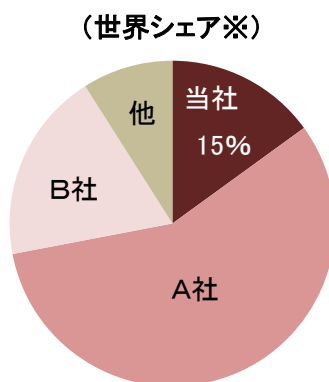
(医薬用管ガラス)

- ✓ 医療ニーズの増大→生産能力の増強
- ✓ 海外向け販売強化

⇒ 世界シェア向上



医薬用管ガラス



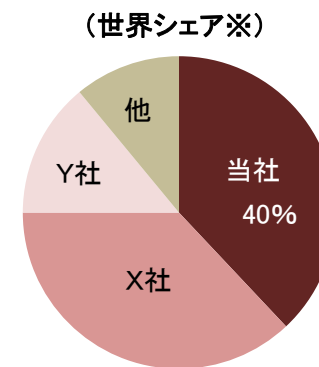
(放射線遮へい用ガラス)

- ✓ 高度医療施設の需要拡大に対応
- ✓ 海外市場での本格展開

⇒ 世界シェア向上



使用例: 慶応義塾大学病院
ハイブリッド手術室



※当社調べ

その他の製品

(フロート製品)

- 太陽電池用基板ガラス - 既存顧客への増産対応、新規顧客開拓
- フロート技術の向上と新製品の開発

(光・電子デバイス用ガラス)

- 40種以上の開発品の早期育成
- マレーシア生産開始による競争力強化（光デバイス用キャピラリ）

(耐熱・建築用ガラス)

- 調理器トッププレート用の海外拡販
- 防火戸用の海外拡販（北米、中東を中心に）
- ネオパリエ、ガラスブロックの物件開拓

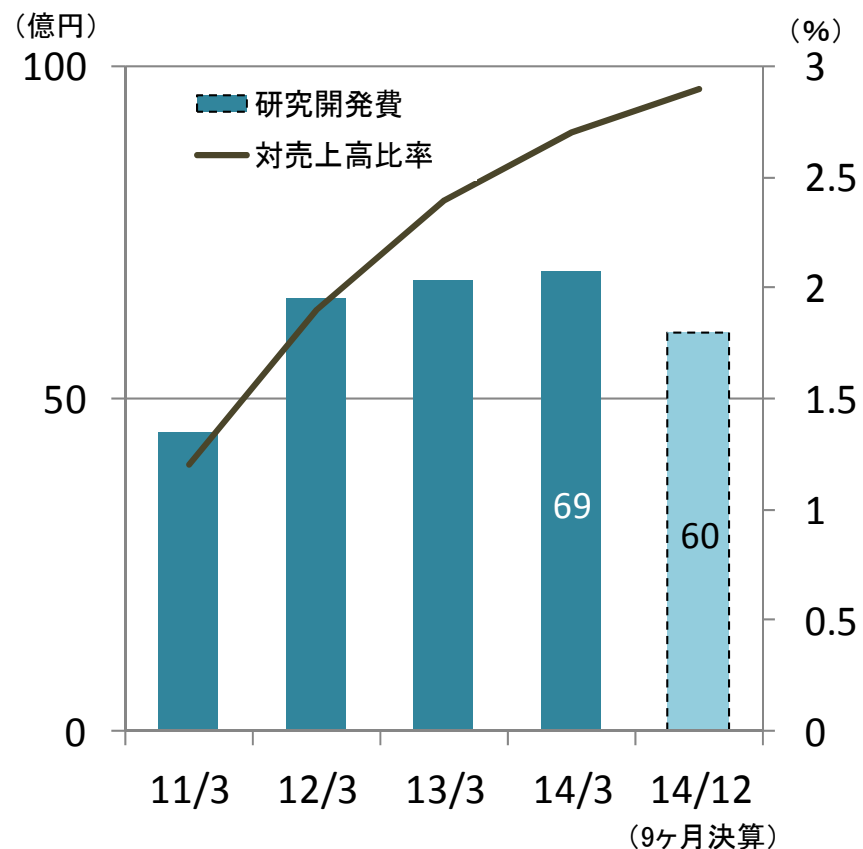
研究開発の強化

⇒ 成長分野での開発強化

- 超高精細ディスプレイ
- タッチパネル
- IT関連機器
- 太陽電池、エネルギー関連部材
- 新照明
- 先端医療部材



研究開発費の推移



(開発の進捗)

超薄板ガラス<G-Leaf>

- ロールtoロール・・・サンプルワーク中(毎月定常的に出荷)
- GOG(Glass On Glass)・・・商業出荷スタート(中小型LCD基板向け)



薄膜技術の応用

ガラスと薄膜技術との組み合わせによる用途開発が進む

- Glass + AR + AF
 - Glass + AG + AF
- AR: Anti-Reflection
AF: Anti-Fingerprint
AG: Anti-Glare

⇒ スマートフォン等の保護フィルム、自動車用インパネ、デジタルサイネージなどへの応用

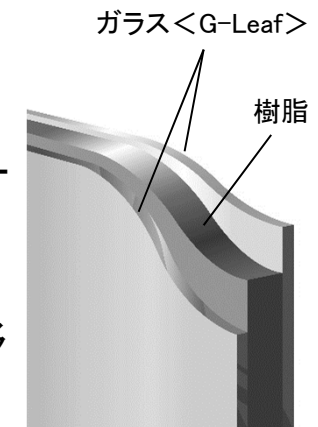
ガラス - 樹脂 積層体<Lamion>

「ガラス」と「樹脂」の良いところをあわせ持つハイブリッド・マテリアル

⇒ 様々な分野で用途開発が進む

(期待される用途)

- 導光板
- ディ스플레이等のカバー
- ショーケース(美術館、宝飾店など)
- 建築・交通インフラ分野のガラス代替部材

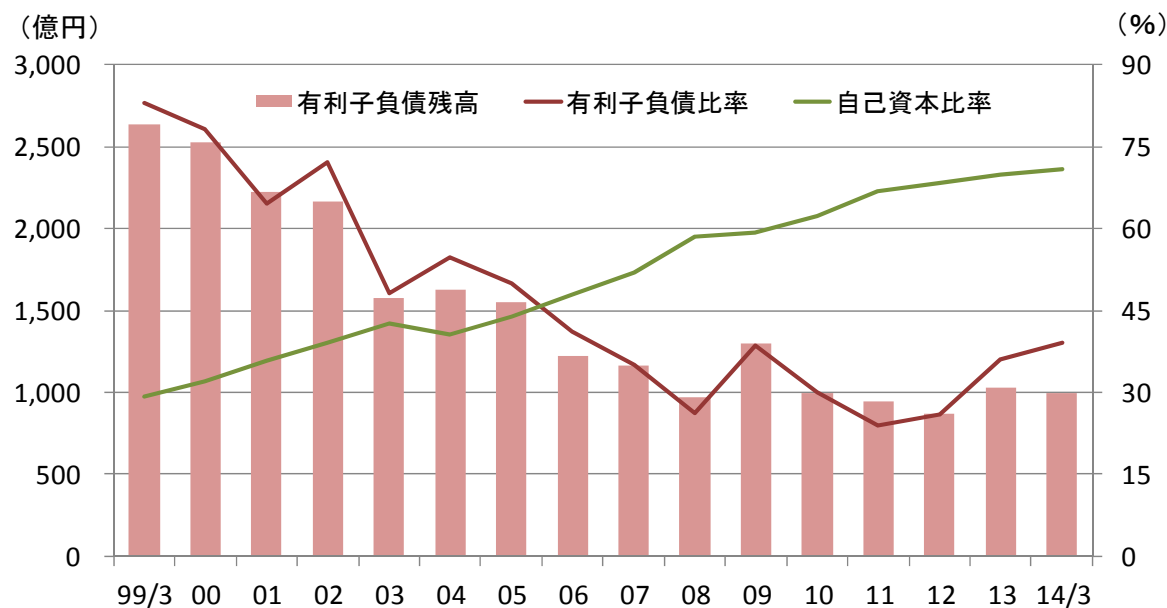


その他

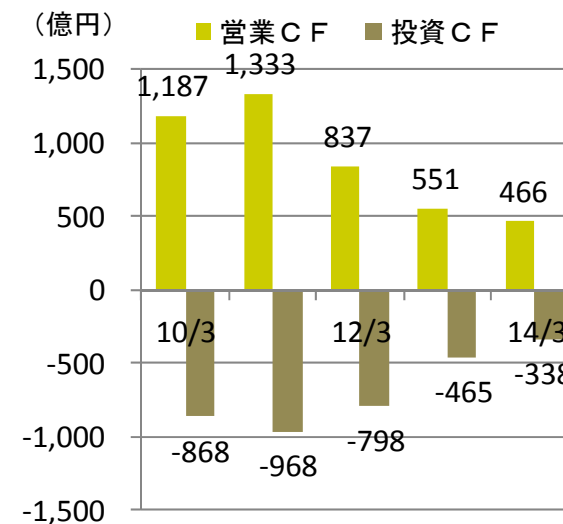
- 有機EL照明用高屈折率ガラス基板<HX-1>
- ゼロ膨張ガラス<ZERO>
- 蛍光体ガラス<ルミファス>
- マイナス膨張フィラー

有利子負債削減とキャッシュ・フロー重視の事業運営

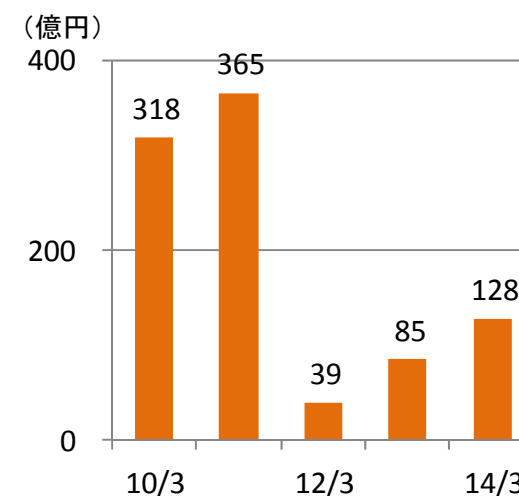
有利子負債	994億円(13/3末比△31億円)
有利子負債比率	39%(同+3%)
自己資本比率	71%(同+1%)



営業CF・投資CF 推移



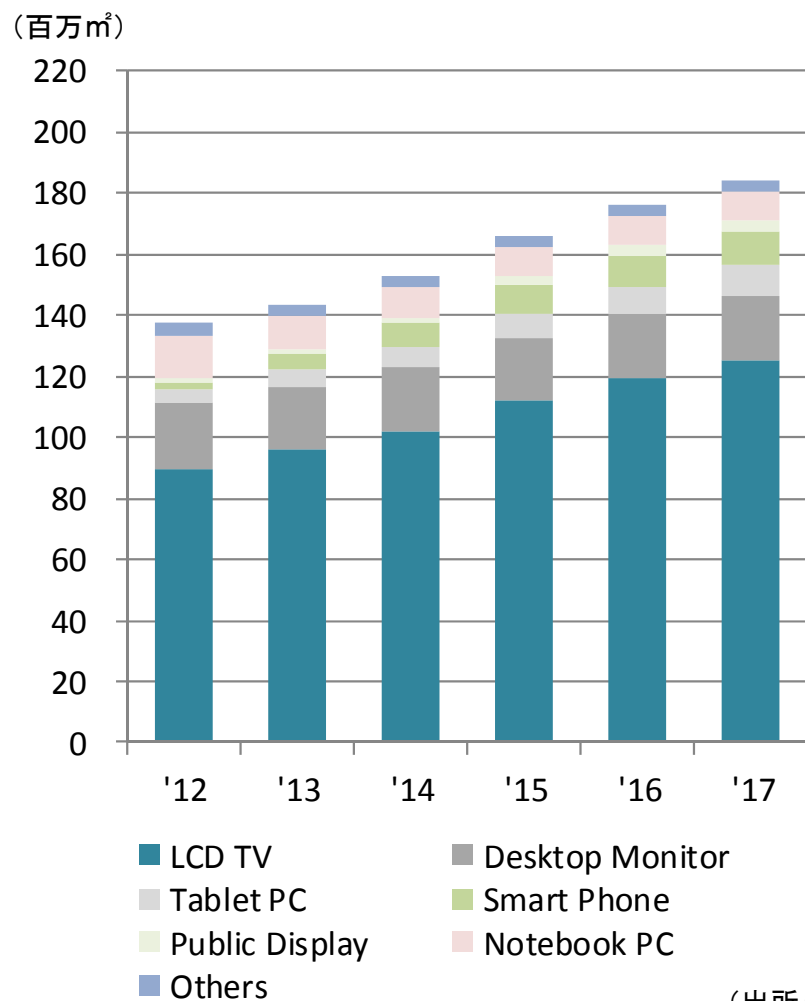
FCF 推移



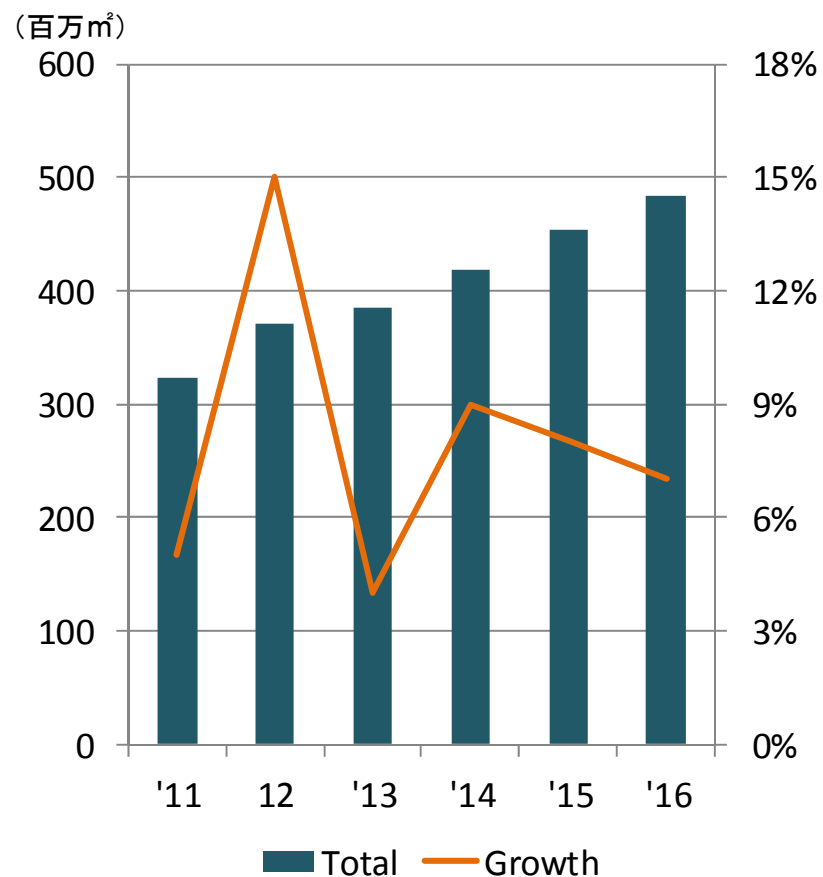
(参考資料)

ディスプレイ市場の動向

TFT LCD市場予測(面積)



ガラス基板需要動向

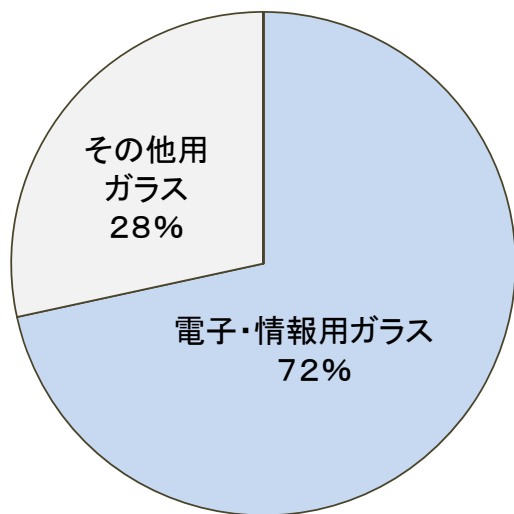


(出所:ディスプレイサーチ)

日本電気硝子の概要

社名	日本電気硝子株式会社
本社所在地	滋賀県大津市
創立年	1949年
資本金	321億円
事業内容	特殊ガラス製品およびガラス製造機械の製造・販売
事業場	大津、藤沢、滋賀高月、能登川、若狭上中、精密ガラス加工センター
連結子会社	22社

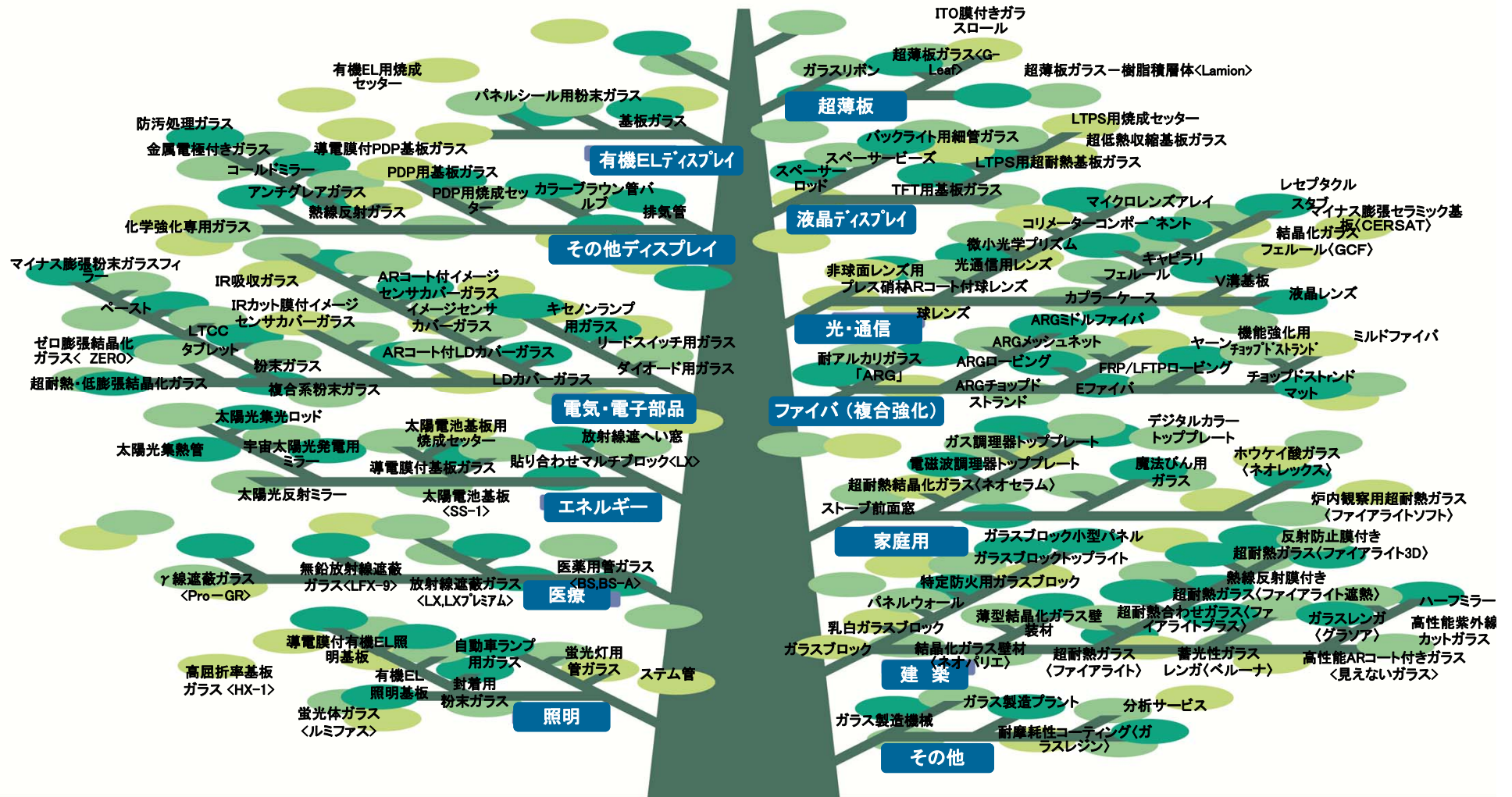
売上構成（14/3期）



主要な事業内容

事業内容	製品	
電子・情報用ガラス	FPD用	液晶ディスプレイ用ガラス プラズマディスプレイ用ガラス
	ブラウン管用	ブラウン管用ガラス
	カバーガラス用	化学強化専用ガラス<Dinorex>
	光関連	光通信デバイス用キャピラリー・フェルール
		光通信デバイス用レンズ部品
		非球面レンズ用硝材<マイクロプリフォーム>
	電子デバイス用	機能性粉末ガラス
		イメージセンサ用板ガラス
		小型電子部品用管ガラス
		蛍光体ガラス<ルミファス>
太陽電池用	太陽電池用ガラス	
その他用ガラス	ガラスファイバ	機能樹脂用チョップドストランド 強化プラスチック用ロービング 自動車用チョップドストランドマット 耐アルカリ性ガラスファイバ
	建築用	ガラスブロック
		結晶化ガラス建材<ネオパリエ>
		防火設備用ガラス<ファイアライト>
		放射線遮へい用ガラス<LXプレミアム> インテリア/エクステリア用ガラス
	耐熱用	超耐熱結晶化ガラス<ネオセラム>
		耐熱ガラス<ネオレックス>
	その他	照明用ガラス
		医薬・理化学用ガラス
		魔法びん用ガラス
ガラス製造機械		

未来へ向かう日本電気硝子の「ガラスの樹」



予想に関する留意事項

- ◆ 本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。
- ◆ 実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。